

# 平成 29 年度事業計画書

公益財団法人服部植物研究所

## I. 公益目的事業

### 1. 研究事業

#### 1-1

#### 蘚苔・地衣類の研究

##### 1) 蘚類の分類・分布について研究する.

- (1) ホウオウゴケ属 *Fissidens* (ホウオウゴケ科) の分子系統学的研究の成果をまとめ, 発表する.
- (2) ニセキンシゴケ属 *Pseudoditrichum* (ニセキンシゴケ科) の分類学的研究を行う.
- (3) センボンゴケ科 *Pottiaceae* の分類学的研究を進め, 研究成果を発表する.

##### 2) 苔類の分類・分布について研究する.

- (1) ケビラゴケ科 *Radulaceae* の *Dichotomae* 節内の種の及びシゲリケビラゴケ *Radula javanica* に関する分類学的研究を継続して行う.
- (2) ムクムクゴケ科 *Trichocoleaceae* の分類学的研究を進め, 研究成果を発表する.
- (3) ヤクシマアミバゴケ *Hattoria yakushimensis* (ツボミゴケ科) の系統分類学的研究を行う.

##### 3) 地衣類の分類・形態, 化学成分, 生態, 分布について研究する.

- (1) 「原色日本地衣植物図鑑」(吉村 1974) を主に属ごとに改訂する「日本地衣類誌」の編纂を進める. 本年度は, イワノリ科とハナビラゴケ科を中心に行う.
- (2) 主に日本産の地衣類を材料とし, 化学分類ならびに化学分類学的手法に関して, 共同研究を行う. 本年度は, 薄層クロマトグラフィー (TLC) による同定法の改善を引き続き進めるとともに, この手法を利用した地衣類同定マニュアルを作成する.
- (3) 中国雲南省の地衣類の分類・多様性解明について共同研究を行う. 本年度は, リトマスゴケ科, スミイボゴケ属, ウメノキゴケ科を予定している.
- (4) その他, 日本および周辺地域の地衣類に関する分類, 多様性, 分布を研究する.
- (5) 様々の分類群の地衣類について, 分子系統学的な研究を共同研究として行う. 特にスミイボゴケ属を中心に研究する.
- (6) 日本産地衣類の遺伝的多様性に関する研究を行う. 本年度は, 海岸生地衣を中心に予備的に調査する.

##### 4) 蘚苔類の古生物学的研究を進め, 研究成果を発表する.

##### 5) 日本及び周辺地域の蘚苔類に関する多様性・系統関係・分布を研究する.

##### 6) 日本国内の蘚苔類絶滅危惧種に関する調査・研究を行う.

環境省レッドリスト掲載種を中心に, 国内に分布する蘚苔類種を対象にした調査・研究を行う. 本年度は主に中部山岳地域および九州南部に分布する種を対象に研究を進める.

## 1-2

### 蘚苔・地衣類のデータベース作成

- 1) 現在研究所に所蔵が確認できるタイプ標本に基づいて、蘚苔類タイプ標本のデータベースを作成し、公開に向けてタイプ標本の登録作業を進める。
- 2) 日本産苔類のチェックリストの作成を引き続き進める。
- 3) 日本産地衣類のチェックリスト（2004 発行）の補遺の作成を引き続き進める。
- 4) 日本の地衣学に関する文献の目録の補遺の作成を行う。
- 5) 島田分室所蔵標本のデータベース化を行う。

## 1-3

### 資料の収集・整理，及び普及活動

- 1) 国内外での野外調査及び標本交換により、国内外の蘚苔・地衣類の資料を収集する。
- 2) 蘚苔・地衣類関係の資料（標本，図書，論文別刷など）の整理を続ける。
  - (1) 本年度収集された標本の仕分けを行う。
  - (2) 本年度までに返却・寄贈された未仕分け標本の仕分けを行う。
  - (3) 収納済み標本の仕分け見直しを行う。
  - (4) 蘚苔類の所蔵タイプ標本の仕分け見直し及び標本棚の移動を行う。
  - (5) 国内及び外国産蘚苔類標本の整理・まとめ及び標本移動を行う。
  - (6) 研究論文原稿蔵書の整理を行う。
  - (7) 高知分室管理の標本を整理し，逐次，十文字資料館に移動する。
  - (8) 岡崎分室から移動した標本及び資料の整理を行う。
  - (9) 島田分室の標本整理を行う。
  - (10) 湯澤博士所蔵標本の受け入れを行う。
- 3) 内外の研究者の要請に応じ，標本の貸出及び文献複写などを行う。
- 4) 内外の研究者及び同好者の要請に応じ，蘚苔・地衣類標本の同定を行う。
- 5) 自然保護及び蘚苔・地衣類を対象とした学術研究活動の発展に貢献するため，自然観察会，講演会，その他の普及活動を行う。
- 6) 研究活動の充実・発展及び社会に開かれた研究所として市民の生涯学習活動を支援する目的で，一般より市民研究員を受け入れ，所属研究員と協力して蘚苔類に関する調査研究を行う。
- 7) 蘚苔・地衣類学の発展及び服部植物研究所の研究活動に関する情報を広く一般に知ってもらうために常設展示場を設け，所蔵資料や研究成果等の展示・説明を行う。
- 8) ホームページの更なる充実を図り，国内外の研究者及び一般の方に向けて情報を発信する。
- 9) 展示場において蘚苔・地衣類に関する書籍及び物品の販売を行う。
- 10) 若手研究者が当研究所で研究を行うための旅費等の補助を行う。

## 1-4

### 研究成果の出版と販売

- 1) HattoriaNo. 9 の編集作業を行う。

2) Hattoria バックナンバーの J-STAGE 搭載を行う。

3) 「HPLC による日本産地衣類の成分」を出版する。

日本産地衣類の成分については過去の研究成果を生かし、高速液体クロマトグラフィーによるクロマト像及び、フォト・ダイオードアレイによる UV スペクトルにより、検出ピークの全てを企画・同定したデータをまとめた。これにより、日本産地衣類のほとんど全種類である 513 種の成分を分析した。この成果を単行本として公表する。

4) 服部植物研究所報告の電子ジャーナル化を継続して行う。

## II. 収益事業

本年度収益事業として下記の事業を実施する。

### 1. 土地の賃貸による収益事業

- 1) 基本財産である宮崎県延岡市川島町の宅地を賃貸
- 2) 基本財産である宮崎県日南市飢肥 6 丁目の宅地を駐車場として賃貸
- 3) 十文字の所有地にて収益事業を行う。

### 2. 山林事業

- 1) 必要な保育事業を行う。

## III. その他の事業

1. 財団運営のために寄付金の依頼活動を行う。

## IV. 財団運営

### 1. 理事会の開催

(開催日程の予定)

平成 29 年 5 月、平成 30 年 3 月に予定。その他必要な議決事項が出た際に随時開催する。

(議事内容)

- 1) 平成 28 年度事業報告及び収支決算書の承認 (5 月)
- 2) 平成 30 年度事業計画及び収支予算案の承認 (3 月)
- 3) その他、法令又は定款で議決を必要とする事項

### 2. 評議員会の開催

(開催日程の予定)

平成 29 年 5 月、平成 30 年 3 月に予定。その他必要な議決事項が出た際に随時開催する。

(議事内容)

- 1) 平成 28 年度事業報告及び収支決算書の承認 (5 月)
- 2) 平成 30 年度事業計画及び収支予算案の承認 (3 月)
- 3) その他、法令又は定款で議決を必要とする事項